

復興事業

東日本大震災と原子力災害からの復興を加速させるため、除染や健康維持・増進など市民の皆さんの安全と安心を確保する事業、風評被害の払拭や経済の活性化など県の活力・元気を発信する事業を重点的に実施しました。

- ふるさと除染実施事業…………… 328億9,904万円
(生活圏森林や道路などの除染、除去土壌の仮置場への搬出)
- 道路等側溝堆積物撤去事業…………… 1億670万円
(除染対象以外の道路等側溝堆積物の撤去)
- ため池等放射性物質対策事業…………… 4億3,464万円
(農業用ため池の放射性物質対策)



▲農業用ため池の放射性物質対策工に着手しました

- 上町地区周辺整備事業…………… 5億569万円
(大原総合病院の移転新築支援、周辺道路整備)
- 保育所、小中学校耐震補強事業…………… 6億6,883万円
(子どもたちの安全を確保するために耐震化を実施)
- 土湯温泉町地区都市再生整備事業…………… 6億7,981万円
(地域の特性を生かした活力とにぎわいのあるまちづくりを推進)



▲土湯温泉公衆浴場「中之湯」の整備を行い、今年4月にリニューアルオープンしました

- 農産物・食品等放射能測定事業…………… 8,869万円
(非破壊式測定装置などによる持ち込み食品の放射能測定)
- 放射線健康管理事業…………… 4,326万円
(ホールボディカウンタによる内部被ばく検査)
- 妊婦・子ども等の放射線対策事業…………… 2,642万円
(個人線量計による外部被ばく線量の測定など)

- 福島体育館再整備事業…………… 9億515万円
(武道館と一体的に整備するための建築工事などを実施)
- 地域振興施設「道の駅」整備事業…………… 1,642万円
(整備のための基本計画を策定)
- 写真美術館再整備事業…………… 792万円
(再整備のための実施設計などを実施)

重点施策事業

平成30年4月1日の中核市移行に向けた取り組みのほか、子育て支援や高齢者施策の充実、産業・観光の振興や雇用創出などの推進、環境衛生の向上など、市民の皆さんが安心して元気に生活できるまちづくり事業を実施しました。

- 保健所整備事業…………… 8億445万円
- 6次化推進事業…………… 592万円
- 新工業団地整備事業…………… 6億4,950万円
- 学力向上サポート事業…………… 1,643万円
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック誘致実施事業… 1,045万円
- 市制施行110周年記念事業…………… 1,415万円



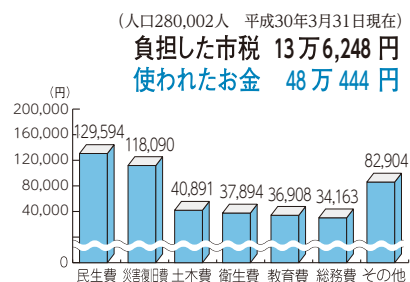
▲中核市への移行に向け、生涯を通じた健康づくり、保健衛生、健康危機管理の拠点となる保健所を整備しました(写真は保健所検査棟)

- 児童福祉施設等整備事業…………… 1億7,101万円
- 公立認定こども園整備事業…………… 648万円
- 認可化移行運営費支援事業…………… 5,305万円
- 市民後見推進事業…………… 508万円
- 地域医療確保対策事業…………… 2億7,912万円
- 妊産婦健診事業…………… 2億4,568万円
- 働く女性応援事業…………… 1,016万円
- 子育て世帯応援に係る手当…………… 3億463万円
- ふくしま元気・ふるさと応援事業…………… 3,587万円
- 十六沼公園サッカー場整備事業…………… 1,023万円

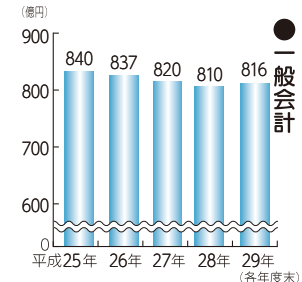
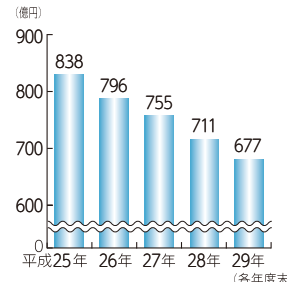


▲市制施行110周年を記念し、国体記念体育館で記念式典を開催しました

- 太陽光発電システム設置助成事業…………… 4,860万円
- 新斎場整備事業…………… 12億2,020万円
- 新最終処分場整備事業…………… 2億5,436万円
- 栄町地区都市再構築型優良建築物等整備事業…………… 2億1,027万円



●一般会計を市民1人当たりで見ると?



●市債残高の推移

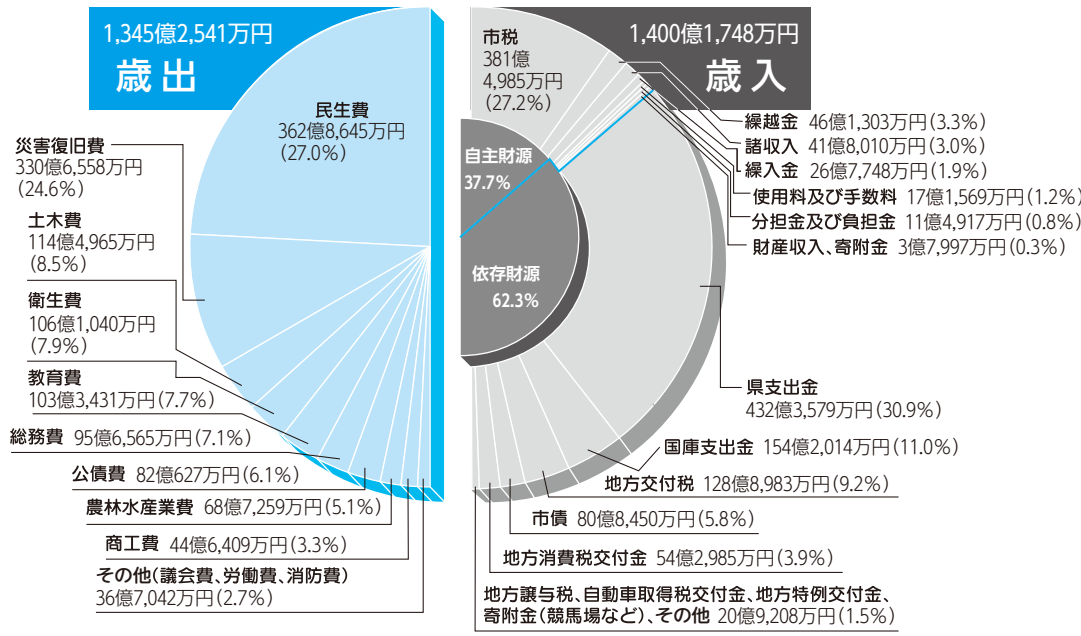
福島市

平成29年度決算のあらましをお知らせします

平成29年度は、市後期基本計画に基づいて、全ての市民が住んでよかったと誇れる県都ふくしまの実現に向け、「いのちを大切に」するまち「こどもと高齢者を大切に」するまち「5つの方針」を軸に、除染などの復興事業を最優先に取り組みとともに、待機児童の解消をはじめとする子育て支援の充実を図るための事業などを実施しました。平成29年度一般会計の決算額は前年度を下回り、歳入総額が1,400億1,748万円、歳出総額が1,345億2,541万円、差し引き54億9,207万円になりました。ここから平成30年度へ繰り越した事業の財源13億8,612万円を差し引いた実質収支額は、41億5,959万円の黒字決算となり、引き続き健全な財政運営に努めました。

主な復興事業・重点施策事業は、5ページをご覧ください。

一般会計歳出総額 1,345億2,541万円



特別会計・公営企業会計の収支決算

会計区分	歳入		歳出	
	歳入	歳出	歳入	歳出
特別会計	国民健康保険事業	311億8,777万円	292億2,586万円	
	飯坂町財産区	2億1,665万円	1億2,158万円	
	公設地方卸売市場事業	2億8,671万円	2億3,706万円	
公営企業会計	土地区画整理事業	3億3,358万円	3億1,220万円	
	介護保険事業	251億6,349万円	246億1,258万円	
	庁舎整備基金運用	100万円	100万円	
特別会計	後期高齢者医療事業	33億8,839万円	33億7,055万円	
	青木財産区	1,329万円	70万円	
	工業団地整備事業	6億4,970万円	6億4,950万円	
計	612億4,058万円	585億3,103万円		

会計区分	歳入		歳出	
	歳入	歳出	歳入	歳出
公営企業会計	水道事業	78億591万円	67億2,997万円	
	資本的収入	9億5,949万円	33億5,761万円	
公営企業会計	水道事業	78億6,288万円	73億6,349万円	
	資本的収入	30億7,058万円	60億29万円	
公営企業会計	農業事業	1億8,342万円	1億8,342万円	
	資本的収入	5,284万円	1億1,743万円	

歳入 市民の皆さんから納めていただく税金。市民税や固定資産税、軽自動車税など。

歳出 市民費：高齢者や障がい者、児童のための福祉や生活保護のための経費。災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧のための経費。土木費：道路や橋、住宅、公園などを整備する経費。衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。教育費：学校や文化スポーツなど教育全般の経費。総務費：人事、企画、財政など市の総括的な事業を進めるための経費。

市債：市民の皆さんから納めていただく税金。市民税や固定資産税、軽自動車税など。

繰入金：市債の元金収入など。

地方交付税：市の財政力に応じて国から交付されるお金。その財源は所得税や法人税、酒税など。

市債：市が事業を進めるための借入金。

民生費：高齢者や障がい者、児童のための福祉や生活保護のための経費。

災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧のための経費。

土木費：道路や橋、住宅、公園などを整備する経費。

衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。

教育費：学校や文化スポーツなど教育全般の経費。

総務費：人事、企画、財政など市の総括的な事業を進めるための経費。